

「第5回木曾川凧（たこ）あげまつり」（同実行委員会主催）が17日、羽島郡笠松町の町民米野運動場などで開かれ、凧愛好家や親子連れら約500人が思い思いの凧を揚げて楽しんだり、12疊の大凧が大空を舞う様子に歓声を上げた。

同町と同郡岐南町の住民らでつくる4団体が、凧揚げに好条件な会場で世代を超えた触れ合いを図ろうと開催。

今回は、昨年が笠松町生誕120年だったことから、同町から発注を受けた関市の凧作家小川義明さんが制作した12疊の大凧や、きなん凧愛好会などが作った120枚の

笠松町で木曾川 親子ら500人が楽しむ 凧あげまつり

連日「教基が登場し、会場にぎわせた。実行委員会がプレイベントとして昨年末から岐阜市などで開催した凧作り教室で出来上がった。また会場では、飲食ブースや乗馬体験会なども催された。

手作り凧、大空にふわり



12疊の大凧を揚げる参加者。羽島郡笠松町、町民米野運動場